

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

聖愛幼稚園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

わくわく

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？

どうして？

できるかな？

こうしてみよう！

できた！

今度はあれをやってみようかな

好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



学校法人聖愛学園 聖愛幼稚園

電話

042-551-3928

所在地

東京都福生市熊川490





とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ オリーブ

園のシンボルとして裏庭にあるオリーブの木。クラスの名前も「オリーブ」ですが、子供たちがオリーブについてあまり知らない様子であったので、テーマとしました。

活動① オリーブってなあに？

「オリーブってなあに？」という問いをもとに、オリーブをよく知るため、オリーブの実を集めたり、葉っぱを虫眼鏡で観察したり、匂いを嗅いでみたりなど、子供たちそれぞれの方法でオリーブを探究しました。



オリーブってなあに？



「パンにかけて食べるもの」
「まだわからない」



葉っぱの表と裏を観察し、触る、実の匂いを嗅ぐ、葉っぱをちぎって葉っぱの中の匂いを嗅ぐなど、様々な感覚を使ってオリーブを知ろうとしていました。



葉っぱ
について

「ぎざぎざになっている」
「つぶつぶしている」
「こっちはつるつる」



実
について

「バナナのおいがする」
「オリーブの中は紫だと思っていたけど
むいてみたら緑だった」
「ぶどうみたい」



活動② オリーブを描こう

活動①で観察したオリーブについてより深く理解するため、オリーブを OHP で壁に映し出したり、虫眼鏡で拡大したりしながら観察し、各々が選んだ紙にペンでオリーブを描きました。

葉っぱの表と裏の色が違うことに気づき、実の色を、いろいろな紫に例えて、表現していました。



活動③ 絵具でオリーブを描こう

活動②で子供たちがオリーブを描く際に色を混ぜたがっていたため、絵具を使ってオリーブを描きました。

赤・青・黄の三原色から、オリーブの色を作りました。



活動④ 土の下を描こう

オリーブの木の下のことも想像し、絵で表現しました。



オリーブの土の下はどうなっている？



「地面の中にも枝がある」
「土を赤くしたのはあったかいから」



子供たちが自分から進んで色を作ったり、自ら観察しながらいろいろな発見をしていました。